

ハリアー (GRAN BLAZE) モデリスタバージョン

フロントスポイラー 取付要領書

品番:MSD41-48003/04-**

設定型式:AXUP85

設定グレード:全グレード

このたびは、モデリスタ商品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。
本書は、フロントスポイラーの取付要領について記載してあります。
取り付け前に必ずお読み頂き、正しい取り付けを行なって下さい。



シグネチャーイルミグリル同時装着の場合は、ハーネス接続方法が異なります。
P7 15 項をご確認下さい。

取り付け上の注意事項

- 取り付け前に車両に傷がついていないか点検して下さい。
- エンジンがかかっている状態では絶対に作業を行なわないで下さい。
- 車両部品の取り外しに際して、紛失や混乱がない様に部品ごとに整理して、復元する際間違えない様配慮して下さい。また、部品に傷を付けたりしない様に取り扱いに注意して作業を行なって下さい。
- 本書で指示した部品以外は、取り外さない様注意して下さい。
- 商品を取り付ける部分の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで拭き取って下さい。
- 車両へ商品を取り付ける際は、左右1名ずつ2名で作業を行なって下さい。
- エンドモール(両面テープ付き)・両面テープを貼り付ける部分は、必ずイソプロピルアルコール(IPA)で脱脂して下さい。
脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれる場合があります。
- 重要** ■両面テープの接着剤促進剤として、必ず両面テープ用プライマーを塗って下さい。
(PACプライマー-N200を本品に添付)
プライマーの効力を発揮させる為、塗布後、常温で10分間以上放置し乾燥させて下さい。
- 重要** ■両面テープは、外気温が15℃以下になると接着力が低下しますので、両面テープ及び被接着面をドライヤー等で温めてから貼り付け作業を行なって下さい。
- 両面テープのプライマーは、溶剤が揮発するため速やかに作業を終了して下さい。
- 両面テープのプライマーは、塗装面を黄変させますので必ず塗装面をマスキングし、はみだしたプライマーは、アルコール等で完全に拭き取って下さい。
- ボディコートが塗布されている車両は塗装用コンパウンドでボディコートを剥離して下さい。(必ずマスキングし、なるべく細かい番手で行なう。) ボディコートが塗布されている車両は脱脂作業を行なっても、プライマーの接着剤促進効果を十分に発揮できない場合があります。ボディコート除去後は、イソプロピルアルコール(IPA)で脱脂をきちんと行なって下さい。
- 重要** ■両面テープの圧着を充分に行なって下さい。49N(5kgf)

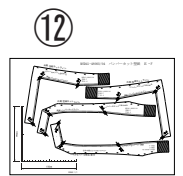
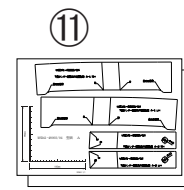
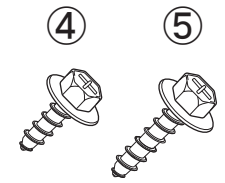
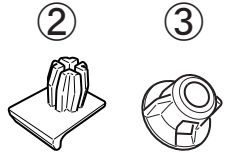
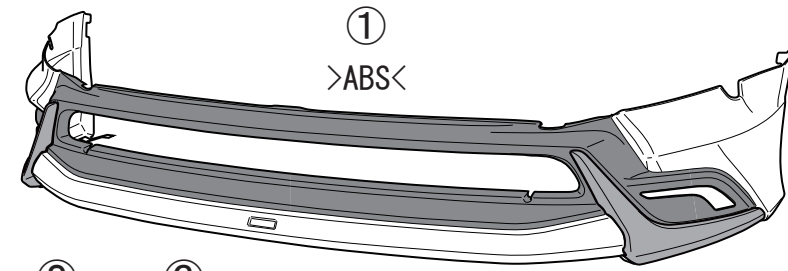
取り付け完了後の点検・注意事項

- フロントスポイラーが、車両バンパーに確実に共締めされているか点検して下さい。
- 両面テープの全ての離型紙が剥がされ、確実に圧着されているか点検して下さい。
- 取り付け完了後、フロントスポイラー及び車両部品に傷がついていないか点検して下さい。
- 取り付け完了後、3時間程度は強い力をかけたり、雨等で濡れない様注意して下さい。
(両面テープの剥がれ、車両バンパーとフロントスポイラーとの間に隙間が発生するおそれがあります。)



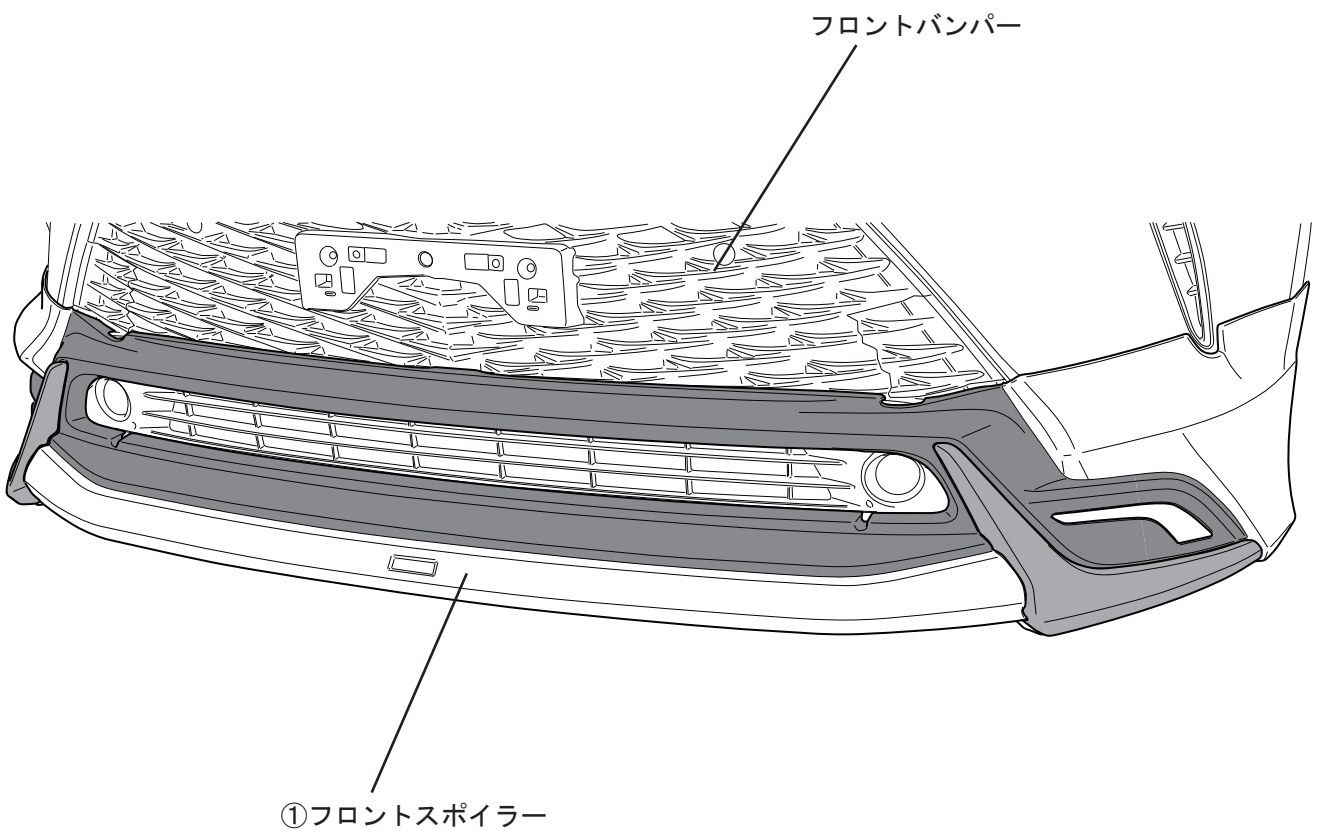
アドバイス…この取付要領書では、スピーディーに安全な作業をして頂く上で知っておいて頂きたい事を左図マークで表示しております。

構成部品



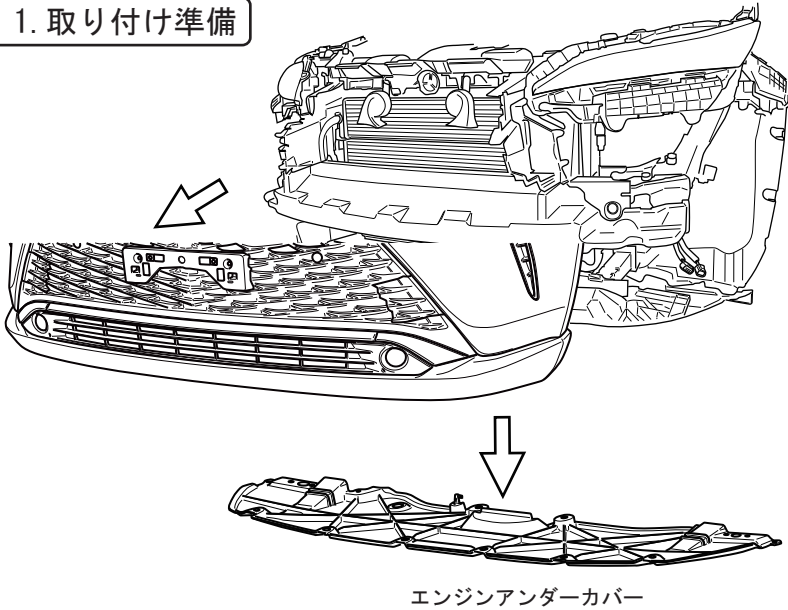
No.	品名	個数
①	フロントスポイラー	1
②	グロメット	4
③	クリップ	2
④	六角頭タッピングスクリュー (M6×16)	4
⑤	六角頭タッピングスクリュー (M6×25)	2
⑥	PACプライマー N-200	1
⑦	スポンジシート	2
⑧	ブラックアウトシール	2
⑨	取付要領書	1
⑩	ハーネスキット	1
⑪	穴あけ用型紙 (A/B/C)	各1
⑫	バンパーカット型紙 (E/F)	1

取付概要

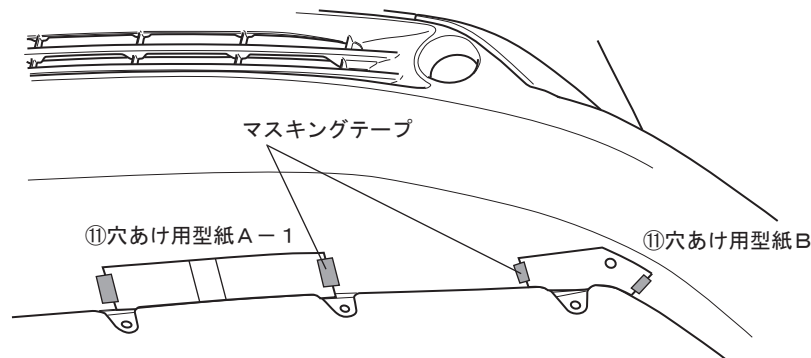


取 付 手 順

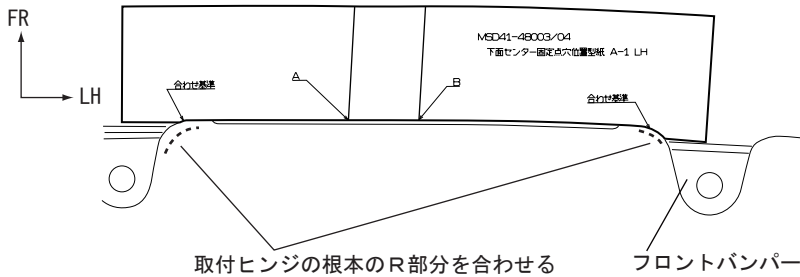
1. 取り付け準備



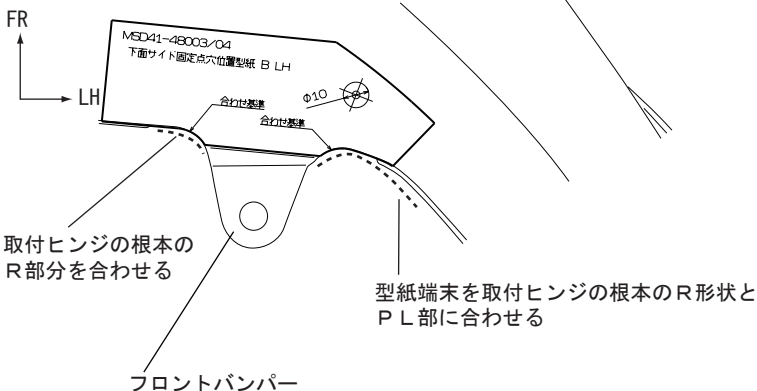
※図示はLH。RHも同様の作業を行なってください。



①穴あけ用型紙 A-1 位置決め



①穴あけ用型紙 B 位置決め



1. バッテリーのマイナス端子を取り外す。



アドバイス

- ・バッテリーのマイナス端子を取り外す際は、トヨタ自動車整備マニュアルを参照して下さい。

2. フロントバンパーとエンジンアンダーカバーを取り外す。



アドバイス

- ・フロントバンパー、エンジンアンダーカバーを取り外す際は、トヨタ自動車整備マニュアルを参照して下さい。

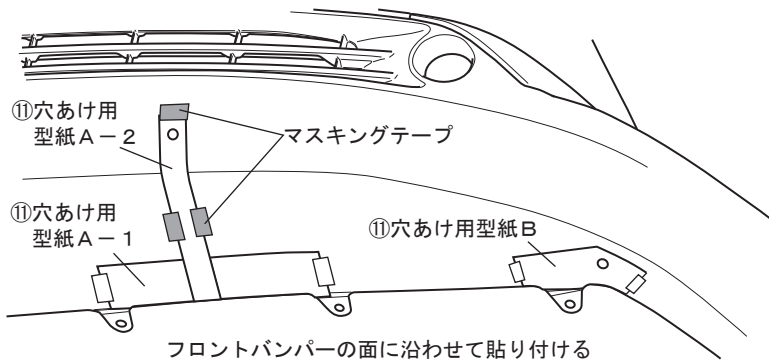


アドバイス

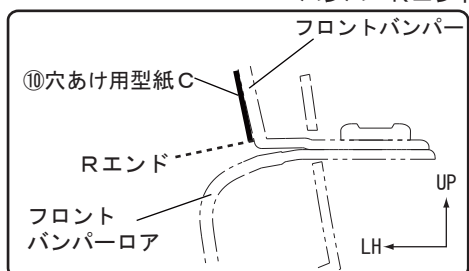
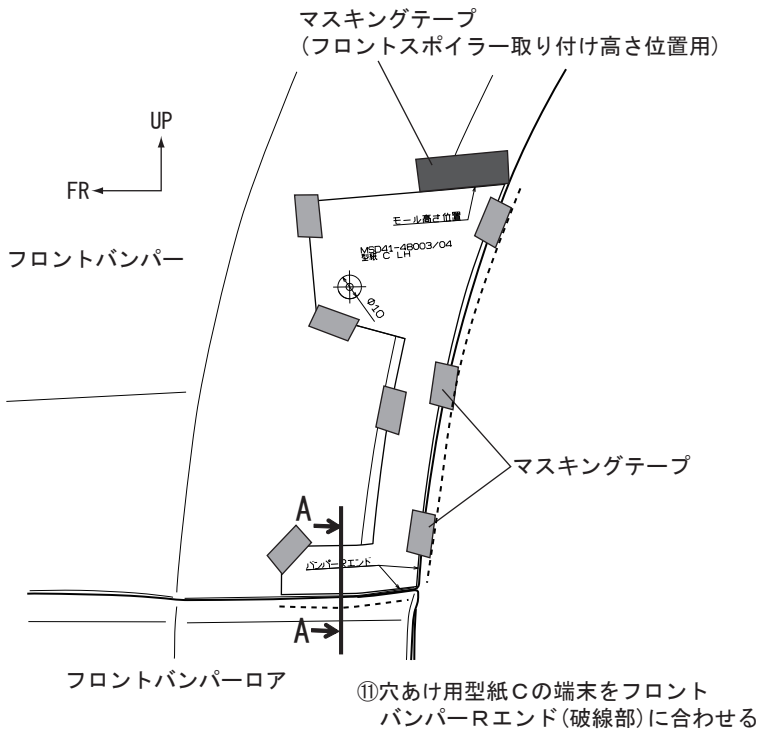
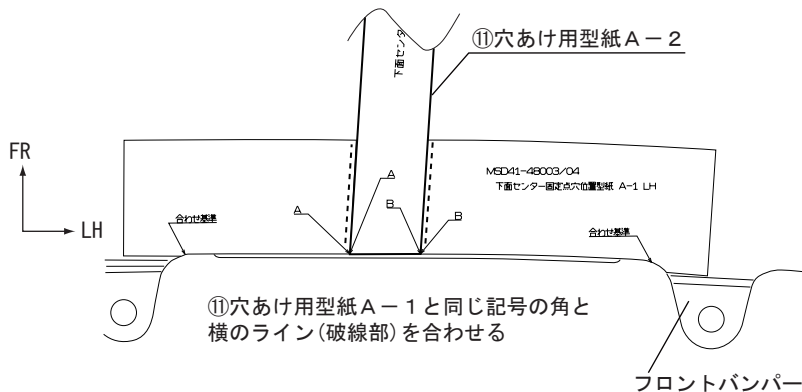
- ・取り外した車両タッピングスクルー、車両クリップ、車両ボルトは再使用しますので、紛失しない様ご注意ください。

3. フロントバンパー下面に①穴あけ用型紙 A-1、Bをそれぞれ左図の要領で位置決めし、マスキングテープ等で貼り付ける。

※図示はLH。RHも同様の作業を行なってください。



⑩穴あけ用型紙A-2位置決め

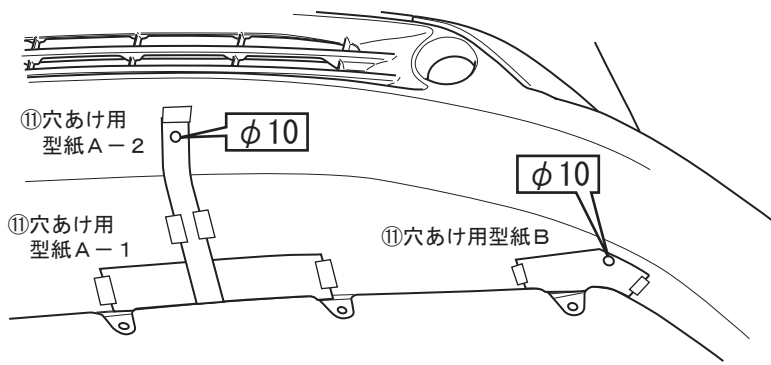


4. 前項で貼り付けた⑩穴あけ用型紙A-1に合わせて⑩穴あけ用型紙A-2を左図の要領で位置決めし、マスキングテープ等で貼り付ける。

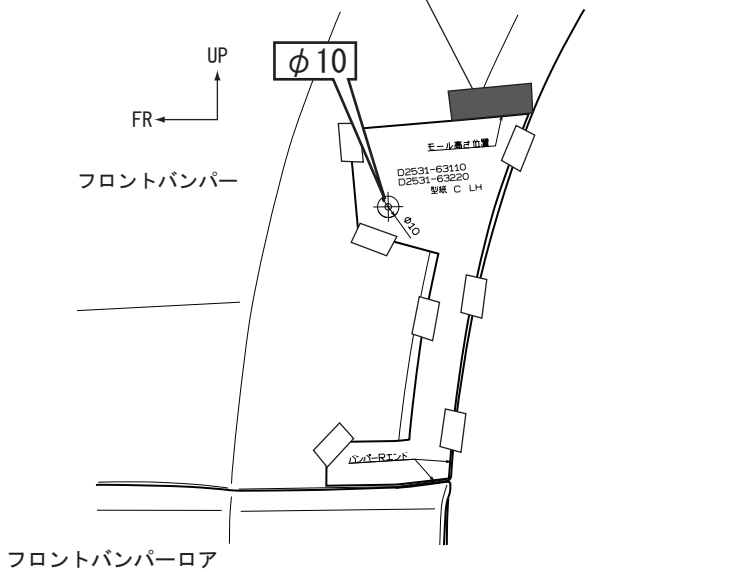
5. フロントバンパー側面に⑩穴あけ用型紙Cを左図の要領で位置決めし、マスキングテープ等で貼り付ける。

6. ⑩穴あけ用型紙C上端にマスキングテープの下端を合わせ、マスキングテープを貼り付ける。
(フロントスポイラー取り付け高さ位置)

※図示はLH。RHも同様の作業を行なってください。



下穴 φ3mm → φ6mm → φ10mm
このマスキングテープは剥がさない (フロントスポイラー高さ位置用)



7. 各型紙の穴センター部に下穴をあける。

👉 **アドバイス**

下穴をあける際は、穴の中心を狙い、ケガキ針ないしは、画鋸を用いて行なって下さい。

8. 各型紙を剥がし、指定の穴径で穴をあける。
(左図参照)

(フロントスポイラー高さ位置用は剥がさない)

👉 **アドバイス**

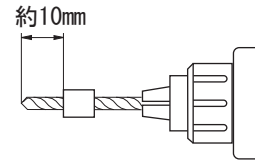
穴をあける際は、φ3mm → φ6mmの順で下穴をあけた後、φ10mmで穴あけを行なって下さい。

注意

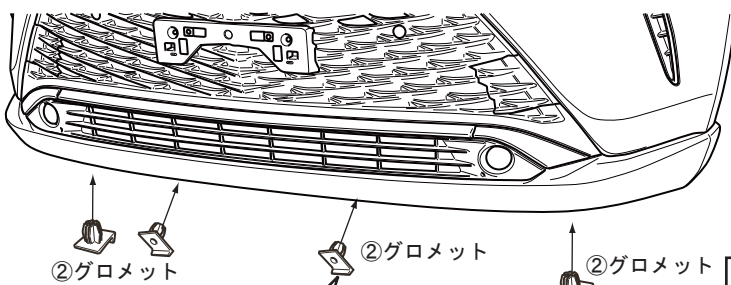
バンパー穴あけ後、バリを除去して下さい。

👉 **アドバイス**

傷つき防止のため、ドリル先端から約10mmの位置に養生テープを巻いてください。



9. 左図を参考にフロントバンパーのφ10で穴をあけた個所に、②グロメットを差し込む。(左右計4ヶ所)

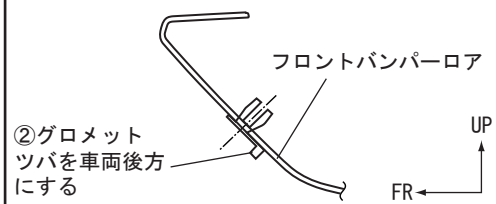


②グロメット

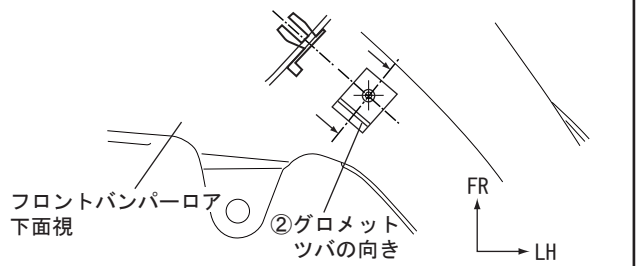
②グロメット

②グロメット

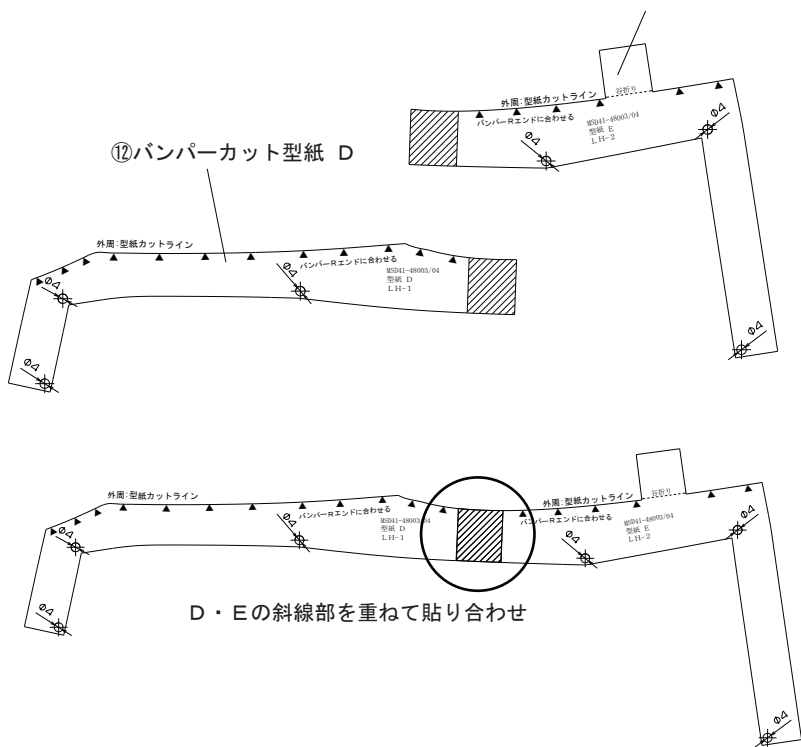
[②グロメット (内側) 差し込み部断面図]



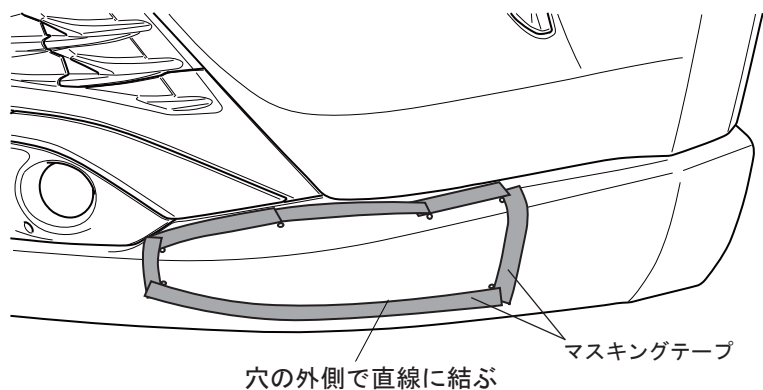
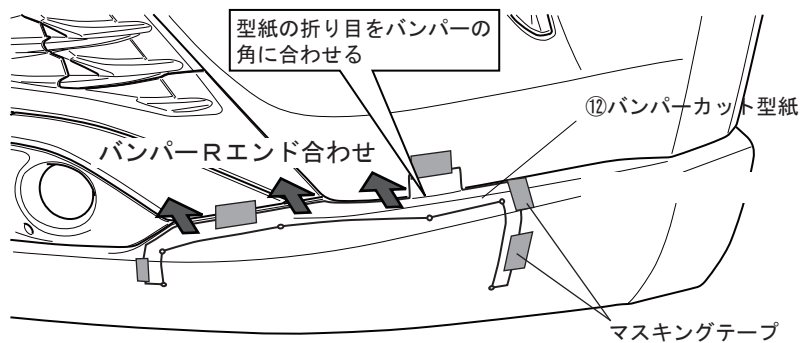
[②グロメット (外側) 差し込み部詳細図]



⑫バンパーカット型紙 E



※図示はLH。RHも同様の作業を行なってください。



10. ⑫バンパーカット型紙をハサミ等でカットし、左図の様に貼り合わせる。

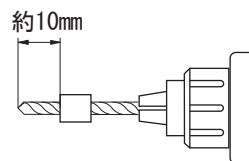
11. 貼り合わせた⑪バンパーカット型紙を左図の位置に合わせ、マスキングテープで固定する。
12. ⑫バンパーカット型紙の穴センター部に下穴をあけ、 $\phi 4$ の穴をあける。

👉 アドバイス

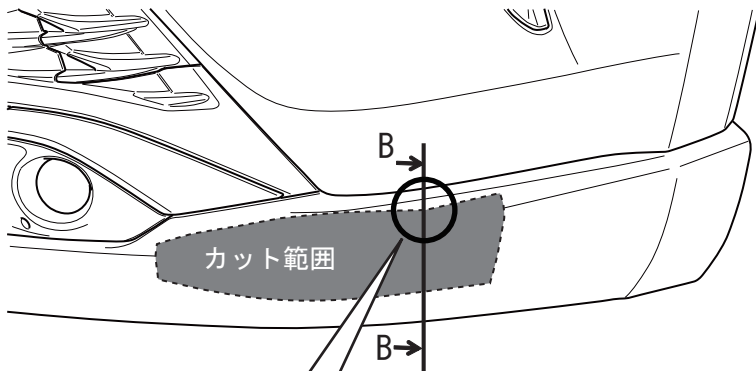
下穴をあける際は、穴の中心を狙い、ケガキ針ないしは、画鋸を用いて行なって下さい。

👉 アドバイス

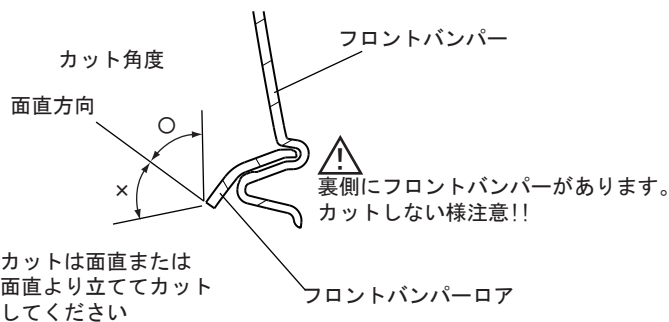
傷つき防止のため、ドリル先端から約10mmの位置に養生テープを巻いてください。



13. 型紙を剥がし、 $\phi 4$ の外周を直線で結ぶようにマスキングテープを貼りつける。



【B-B断面】



14. マスキングテープ内側に合わせてエアソー等でフロントバンパーをカットする。

注意

バンパー裏 配線類を切らないように作業を行って下さい。



アドバイス

- ・バンパーをカットする際は、保護具を着用して下さい。
- ・バンパーに傷が付かない様に注意して作業を行って下さい。

注意

バンパーカット後、手を切らない様にカット面のバリを除去して下さい。

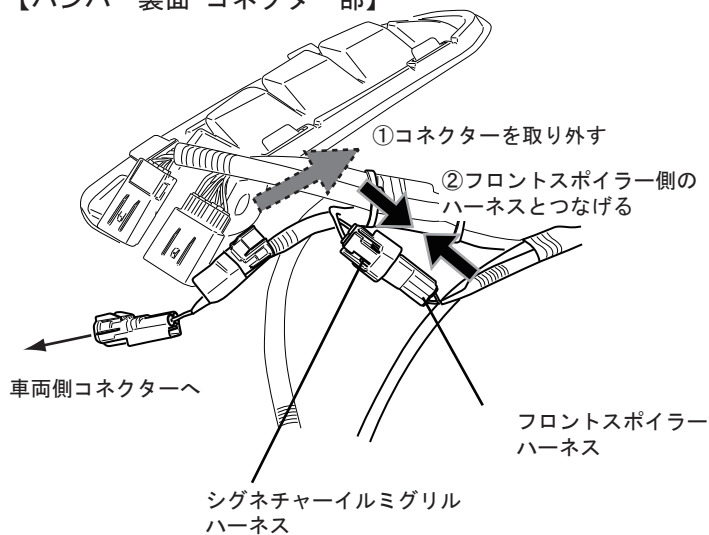


この作業までにハーネスキットの取付けを完了して下さい。

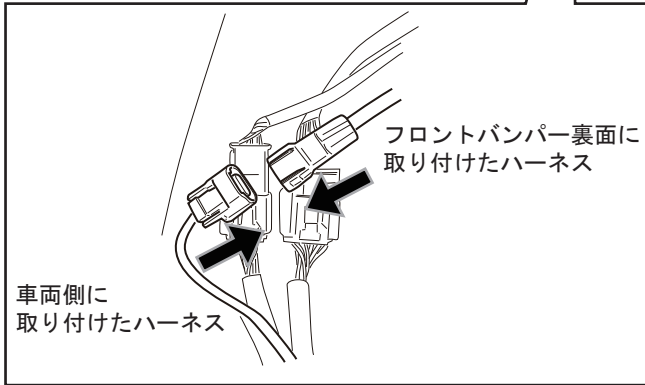
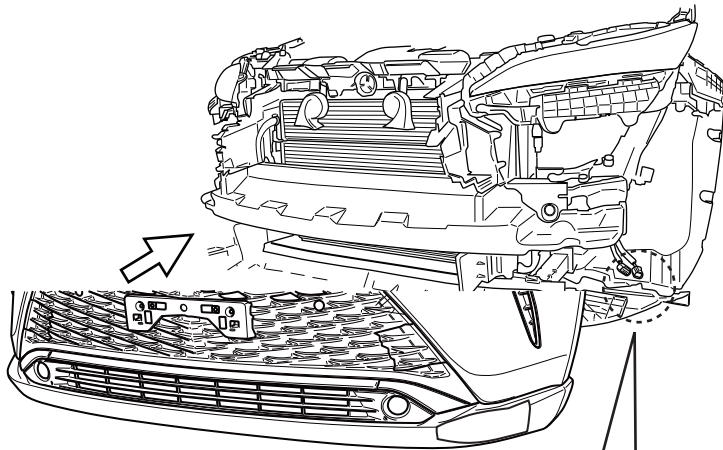


シグネチャーイルミグリル同時装着の場合のみ以下の作業を行なって下さい。

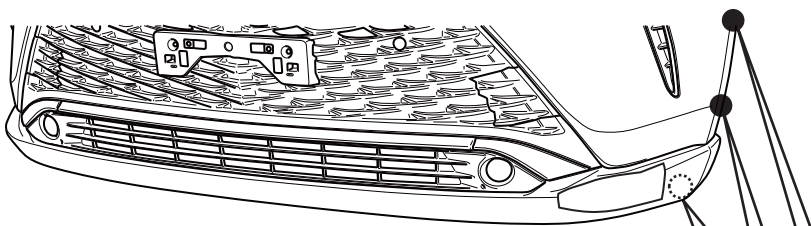
【バンパー裏面 コネクター部】



15. シグネチャーイルミグリルハーネスの途中のコネクタを取り外しフロントスポイラーのハーネス(バンパー用)につなげる。(左図参照)



16. フロントバンパーを車両に近づけ、車両側配線（センサー・フォグランプ等）のコネクタを接続する。
同時に、車両側に取り付けたハーネスとバンパー裏側のハーネスも接続する。
（左図参照）



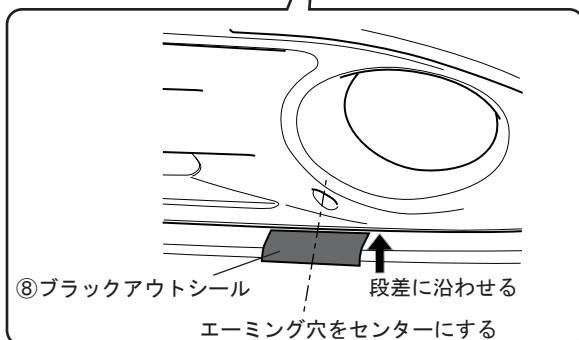
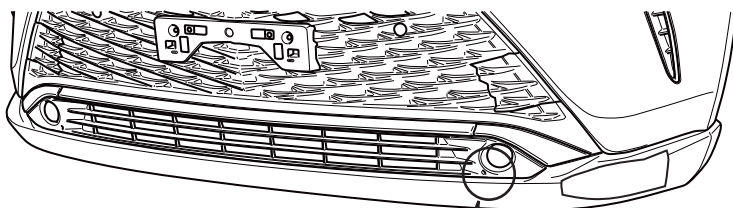
フェンダーライナーのクリップ(2箇所)
ホイールアーチ下面のタッピングスクリュー(1箇所)は取り付けない。

17. フロントバンパーを車両に取り付ける。
※エンジンアンダーカバーは取り付けない



アドバイス

フロントバンパーを復元する際は、トヨタ自動車整備マニュアルを参照して下さい。

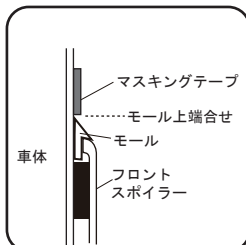
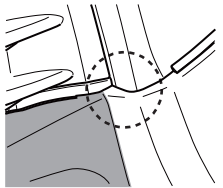


18. フォグランプのエーミング用穴の下側を、清掃脱脂し、⑧ブラックアウトシールを貼りつける。（左図参照）

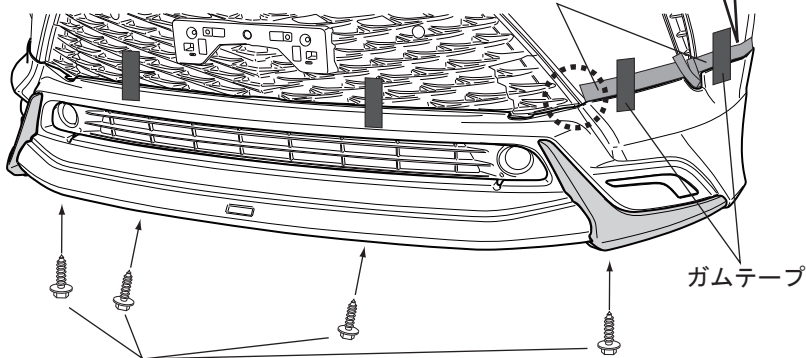
2. 仮付けとプライマーの塗布

【破線部詳細】

破線部のスキマを左右均等スキにする



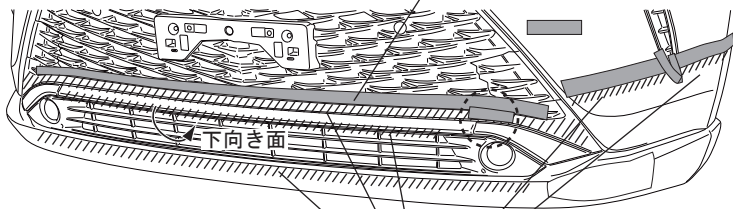
マスキングテープ



④六角頭タッピング
スクリュー (M6×16)

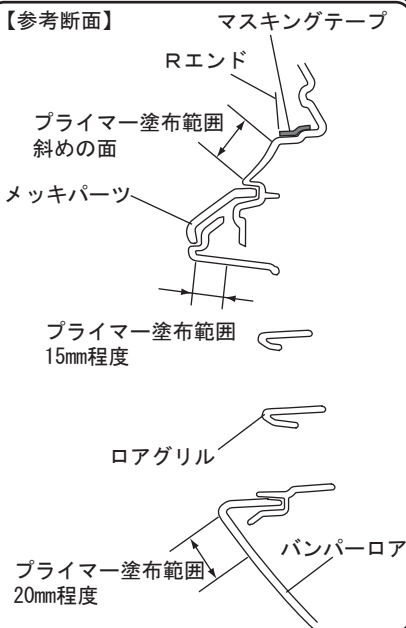
ガムテープ

マスキングテープ
(プライマー乾燥後剥がす)



⑥PACプライマー塗布範囲

【参考断面】



マスキングテープ

Rエンド

プライマー塗布範囲
斜めの面

メッキパーツ

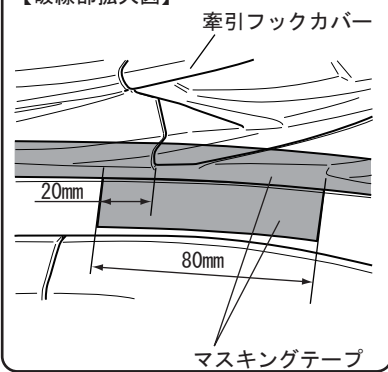
プライマー塗布範囲
15mm程度

ロアグリル

プライマー塗布範囲
20mm程度

バンパーロア

【破線部拡大図】



牽引フックカバー

20mm

80mm

マスキングテープ

- ①フロントスポイラーをフロントバンパーにかぶせ、取り付け位置を決め、ガムテープ等で仮固定する。
(左図参照)



アドバイス

フロントバンパーにキズをつける恐れがあるため、製品を被せる際は側面のボルトに注意して取り付けを行なってください。

- ②フロントスポイラー下面を④六角頭タッピングスクリュー (M6×16) にて仮締めする。
(左図参照)

- ③スポイラー外周にマスキングテープを貼り付ける。

- ④フロントスポイラーを一旦取り外し、スポイラー取り付けセンター部上面のRエンドを基準にマスキングテープを貼りつける。
(断面図参照)

- ⑤牽引フックカバー下側にマスキングテープを貼り付ける。
(拡大図参照)

- ⑥両面テープ貼り付け部(左図斜線部)を清掃後、イソプロピルアルコール(IPA)で脱脂する。
(断面図参照)

- ⑦両面テープ貼り付け部(左図斜線部)に⑥PACプライマー-N200を塗布する。



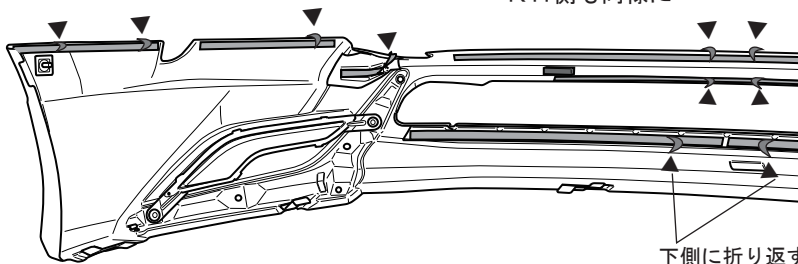
アドバイス

- ・PAC7プライマー-N200は特に白色塗装面を黄変させますので、マスキングするか、はみ出したプライマーは、アルコール等で拭き取って下さい。
- ・PAC7プライマー-N200塗布後は、常温で10分以上放置し乾燥させて下さい。
- ・ボディコート処理されている車両は、マスキングをして両面テープ貼り付け部分を塗装用コンパウンドで除去して下さい。

- ⑧プライマー乾燥後、4項/5項で貼り付けたマスキングテープを剥がす。

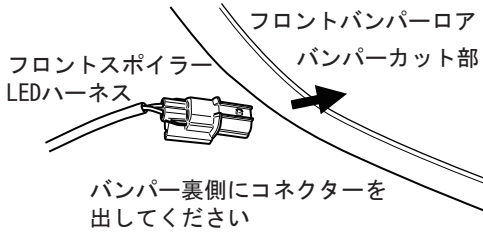
3. 取り付け

LH裏側図示
RH側も同様に



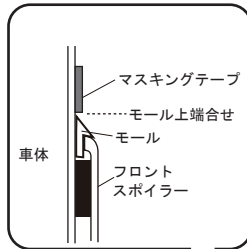
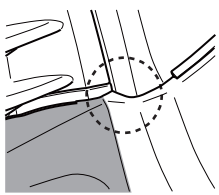
下側に折り返す

- ①フロントスポイラーの両面テープ離型紙を一部剥がし、表面に折り返してマスキングテープで貼り付ける。

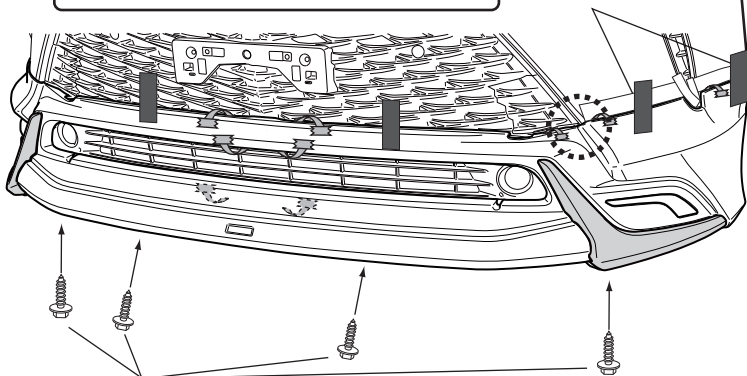


【破線部詳細】

破線部のスキマを
左右均等スキにする

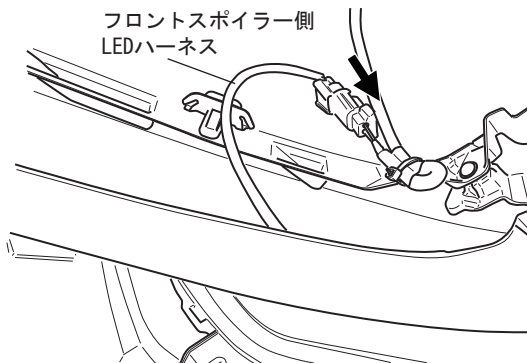
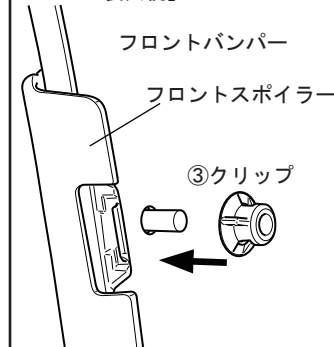


ガムテープ



④六角頭タッピング
スクリュー (M6×16)

【ホイールアーチ部
バンパー裏面視】



2. ①フロントスポイラーを左図の要領でフロントバンパーに合わせ、ガムテープ等で仮固定する。(左図参照)



アドバイス

フロントバンパーにキズをつける恐れがあるため、製品を被せる際は側面のボルトに注意して取付けを行なってください。



アドバイス

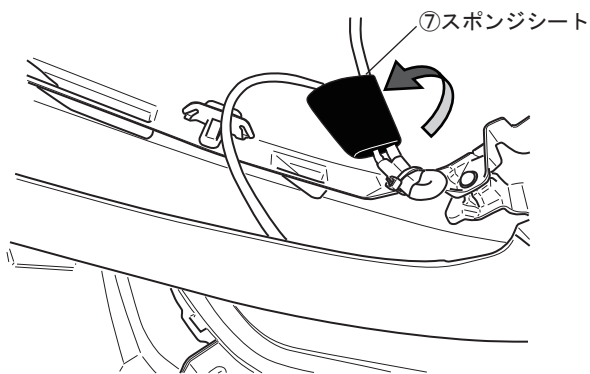
フロントスポイラー側のLEDユニットから出ているハーネスをバンパーの裏側へ通してください。

3. ①フロントスポイラー下面を④六角頭タッピングスクリュー (M6×16)にて仮締めする。(左図参照)

4. フェンダーライナーをめくり、バンパー裏面から③クリップをボルト部に押し込み、仮締めする。(左右計2ヶ所)

5. フロントバンパーの下から裏面に手を入れ、LEDのハーネスをつなぐ。

6. バッテリーのマイナス端子をつなぎ、点灯するか確認する。(イグニッションONで点灯)



7. つないだコネクタ部に⑦スポンジを巻き付ける。

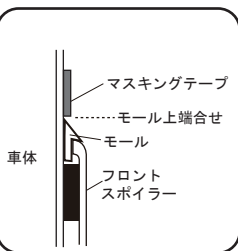
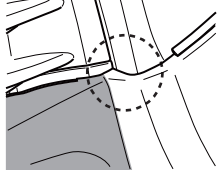
アドバイス

コネクタ部のスポンジで異音が出ないことを確認してください。

(No.) 離型紙を引き抜く順序

【破線部詳細】

破線部のスキマを左右均等スキにする

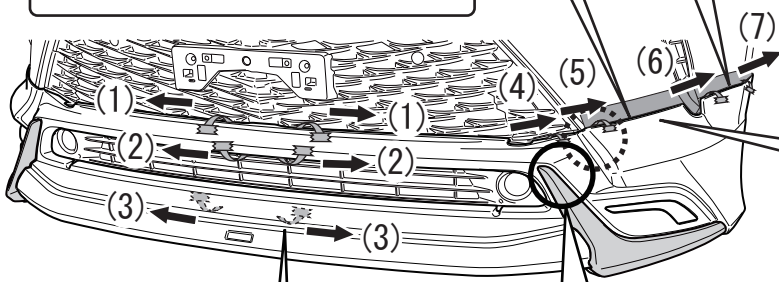


8. 両面テープ離型紙を(1)～(7)の順に引き抜きながら外側に向けて圧着する。

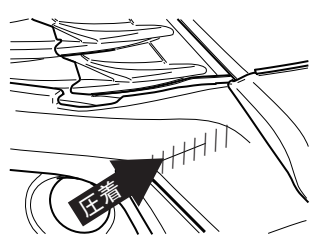
※離型紙を引き抜く際に、①フロントスポイラーの取り付け位置が変わらない様に注意して下さい。

アドバイス

両面テープの貼り直しをすると、接着力が極端に低下します。

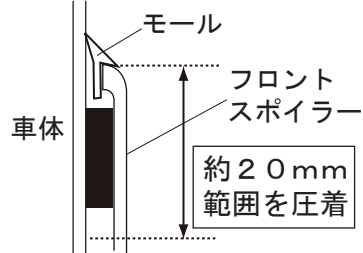


【○部拡大図】



フロントスポイラーの角部(斜線部)を押し圧着してください

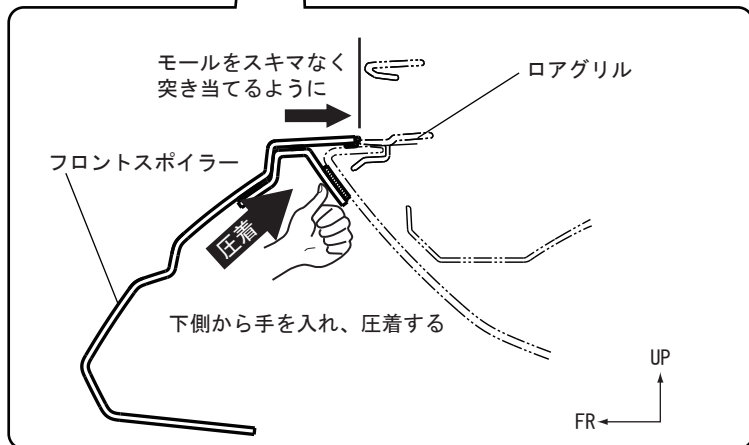
【図示部断面】

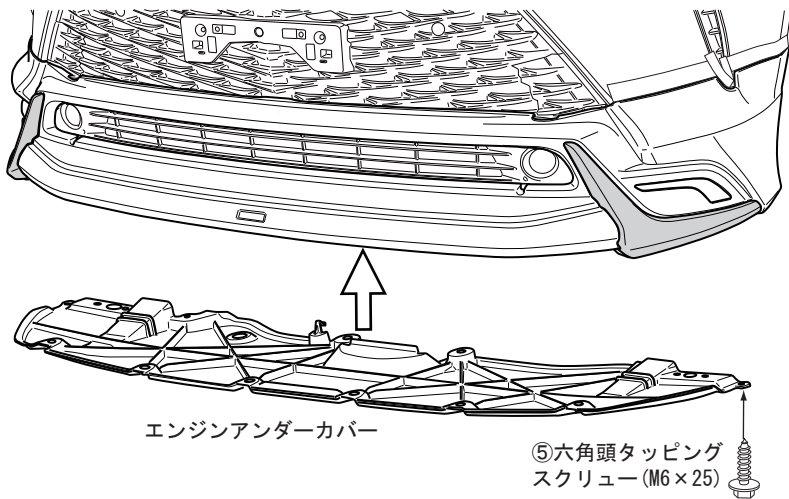


図示部 両面テープ圧着の際は、上図範囲を念入りに圧着して下さい。

アドバイス

- ・ 離型紙が途中で切れない様に、①フロントスポイラーを少し浮かしながら離型紙を引き抜いて下さい。
- ・ 両面テープの圧着は、49N(5kgf)程度の力で行って下さい。

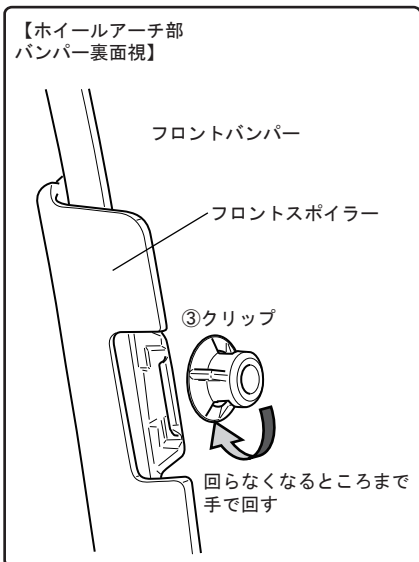
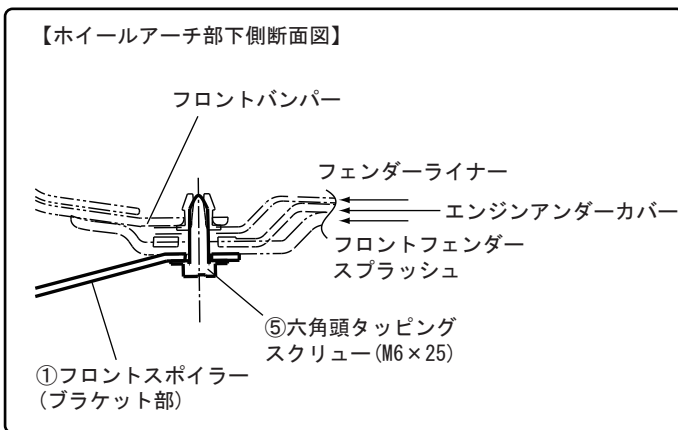




9. エンジンアンダーカバーを復元する。
ホイールアーチ部下側ブラケットを⑤六角頭タッピングスクリュー (M6×25)にて共締めする。(仮締め)

アドバイス

エンジンアンダーカバーを復元する際は、トヨタ自動車整備マニュアルを参照して下さい。

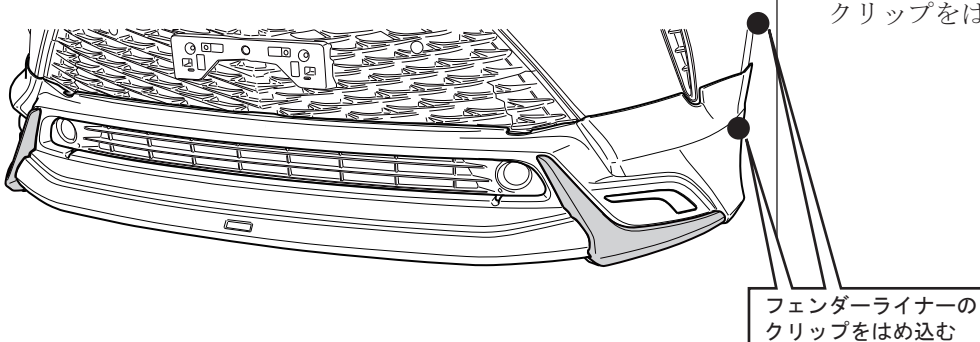


10. ①フロントスポイラーの浮き・剥がれがないかを確認し、再度両面テープ貼り付け面を圧着する。

11. フロントバンパーに貼り付けたマスキングテープ等を全てはがす。

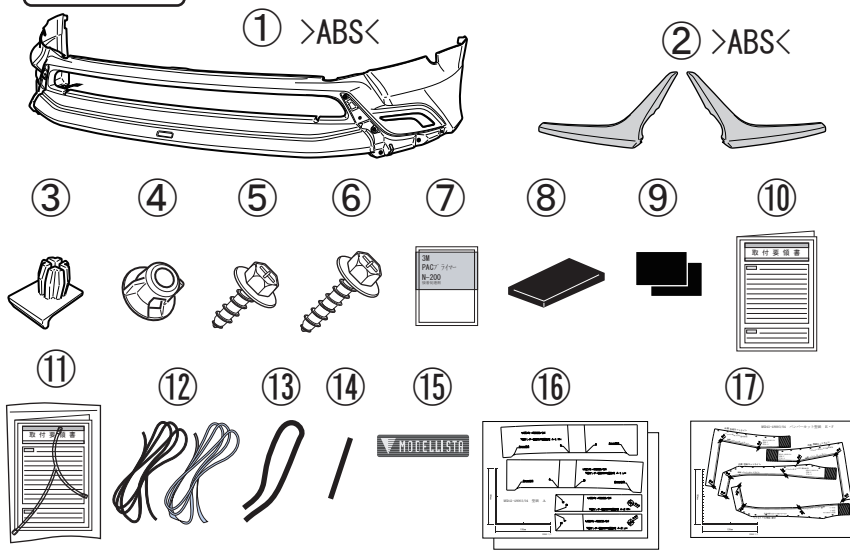
12. 両面テープ貼り付け後、3時間以上放置してから全ての仮締め部を本締めする。

13. ホイールアーチ部のフェンダーライナーのクリップをはめ込む。



フロントスポイラー素地品の塗装手順

構成部品



No.	品名	個数
①	フロントスポイラー	1
②	サイドメッキパーツ	LH:1 RH:1
③	グロメット	4
④	クリップ	2
⑤	六角頭タッピングスクリュー (M6×16)	4
⑥	六角頭タッピングスクリュー (M6×25)	2
⑦	PACプライマー N-200	1
⑧	スポンジシート	2
⑨	ブラックアウトシール	2
⑩	取付要領書	1
⑪	ハーネスキット	1
⑫	エンドモール	ライトグレー:1 ブラック:1
⑬	Lモール(ブラック)	1
⑭	スポンジ	1
⑮	エンブレム	1
⑯	穴あけ用型紙 (A/B/C)	各1
⑰	バンパーカット型紙 (D/E)	1

塗装作業

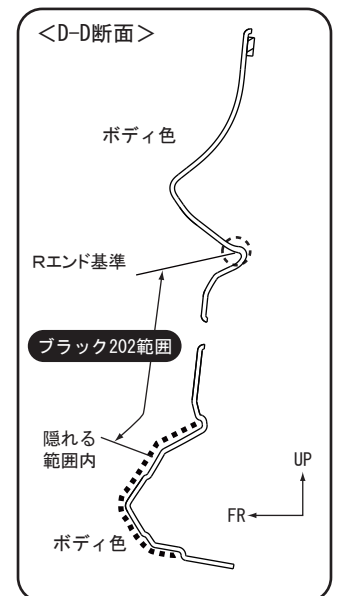
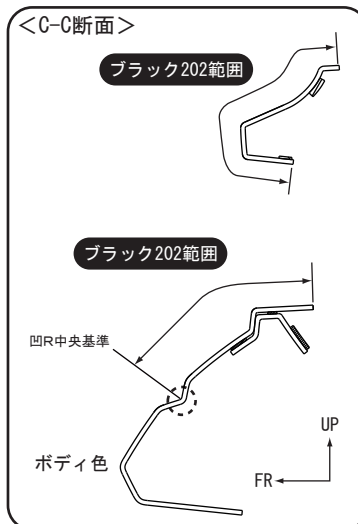
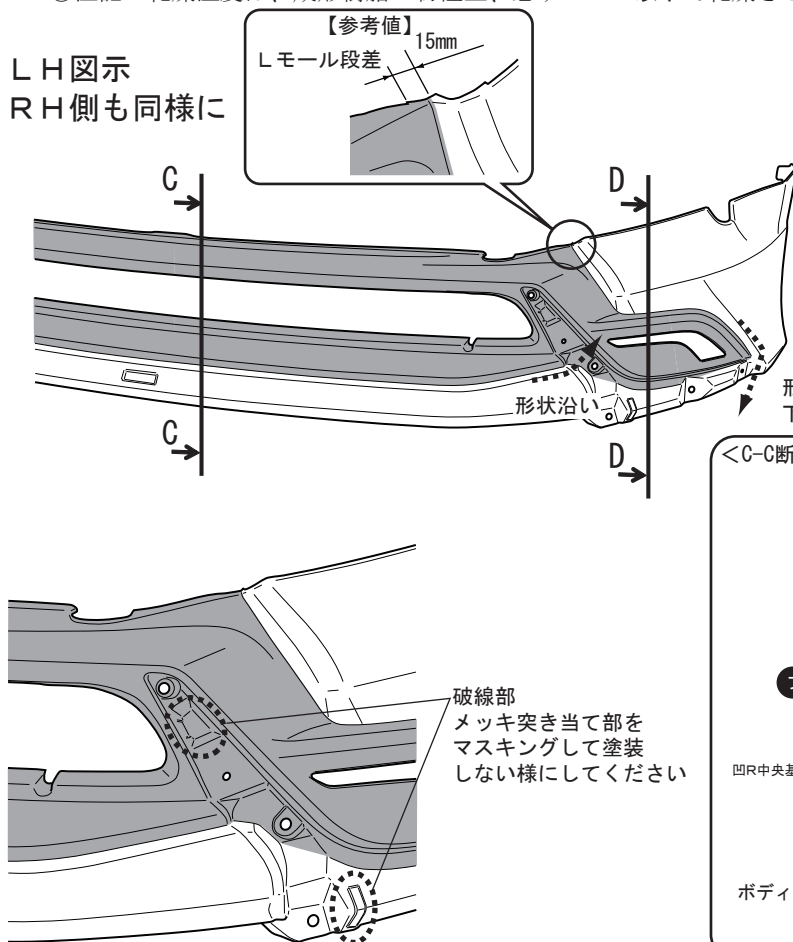
- 本体に仮付けしてあるメッキパーツ・LEDユニットを取り外す。
(取り外したビス類・クリップは再使用します。)
 - 塗装面の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで取り除き、必ず脱脂を行なう。
 - 製品に貼り付けてある両面テープ・ゴム部・ネジ部をマスキングする。
 - プライマー塗装を行なう。
 - 上塗り塗装を行なう。
- ◎注記：上塗り用の塗料はウレタン系をご使用下さい。
- 下図を参考にマスキングを行ない、範囲内に**ブラック202**塗装を行なう。
 - 乾燥

◎注記：乾燥温度は、成形樹脂の物性上、必ず60℃以下で乾燥させて下さい。

⑫エンドモール推奨使用色

色番号	色名称	モール色
089	プラチナホワイトパールマイカ	ライトグレー
1G3	グレーメタリック	ブラック
219	プレシャスブラックパール	ブラック
3T3	センシユアルレッドマイカ	ブラック

LH図示
RH側も同様に



エンドモールの貼り付け

1. 塗装終了後、⑫エンドモール・⑬Lモール・⑭スポンジを貼り付ける部分を清掃後、イソプロピルアルコール(IPA)で脱脂し、⑦PACプライマー-N-200を塗布する。

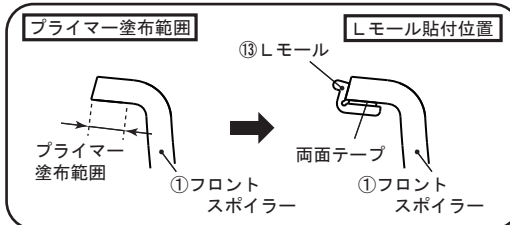
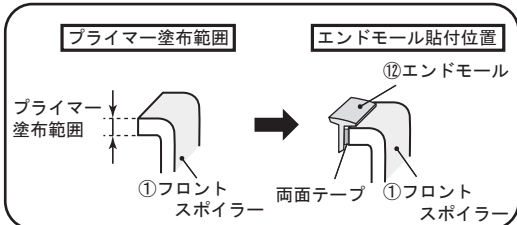
アドバイス

⑦PACプライマー-N-200は①フロントスポイラー取り付け時に再使用します。

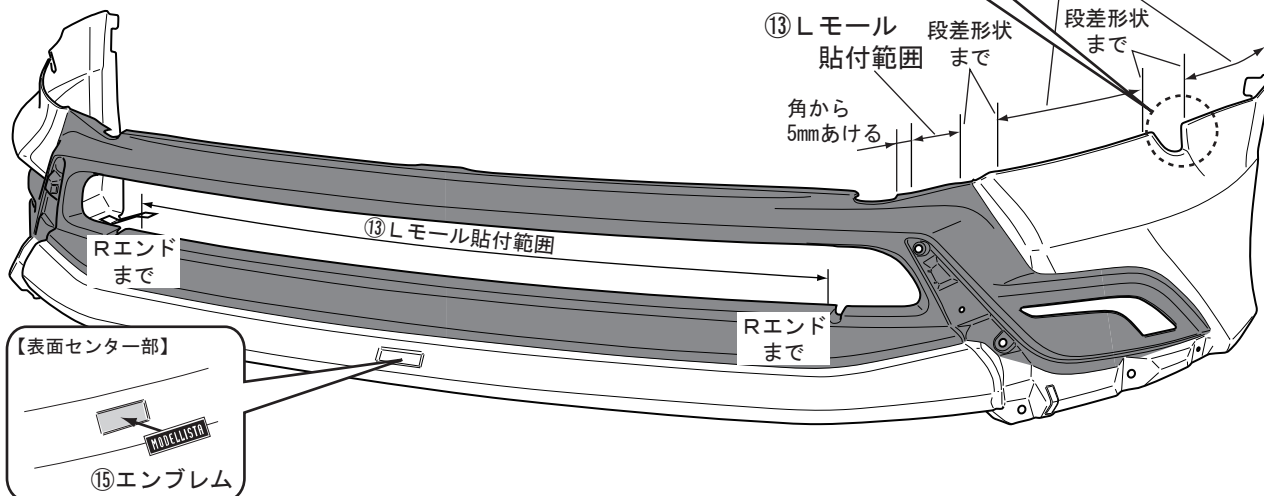
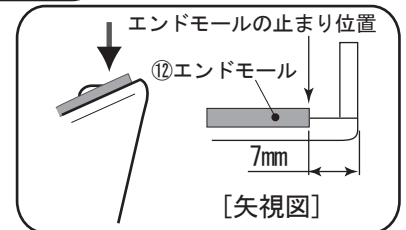
揮発性が高いので、速やかに袋に戻し揮発を抑えて下さい。

特に白色塗装面を黄変させますので、マスキングするか、はみ出したプライマーは、アルコール等で拭き取って下さい。

⑦PACプライマー-N-200塗布後は、常温で10分間以上放置し乾燥させて下さい。

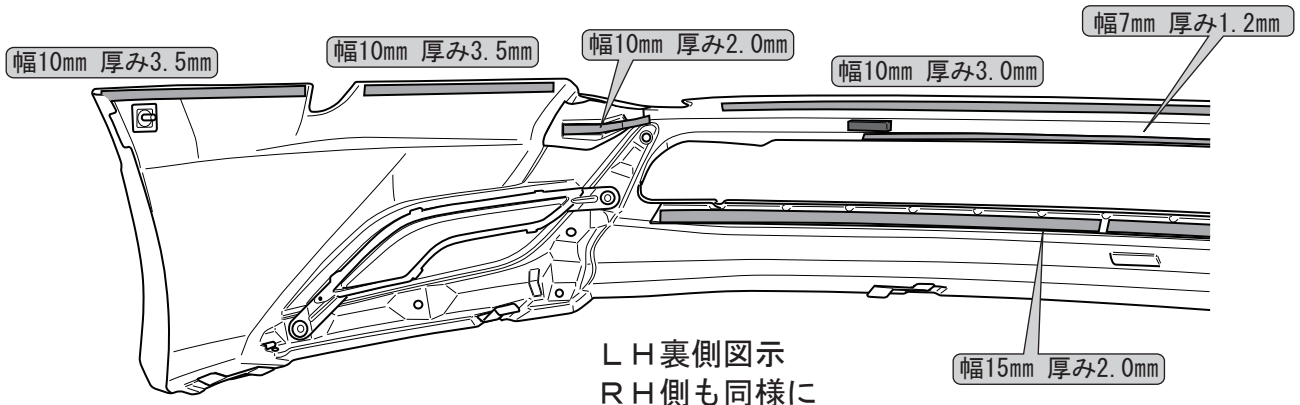


2. 下図の要領で⑫エンドモール・⑬Lモール・⑭スポンジを貼り付ける。
3. 下図の要領で⑮エンブレムを貼り付ける部分を清掃・脱脂し、座面中央に貼り付ける。



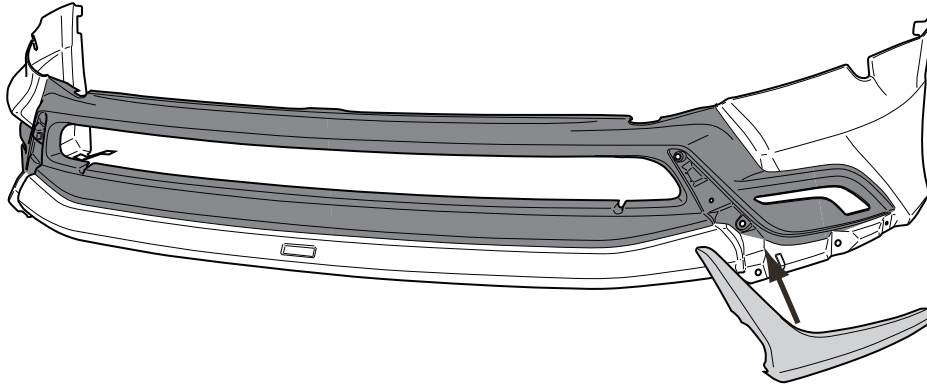
補修キット両面テープ貼り付け

1. 補修キットを使用してフロントスポイラーの再取り付けを行う際は、下図を参考に両面テープを選択しイソプロピルアルコール(IPA)で脱脂・⑦PACプライマー-N-200を塗布した後、貼り付けを行なってください。



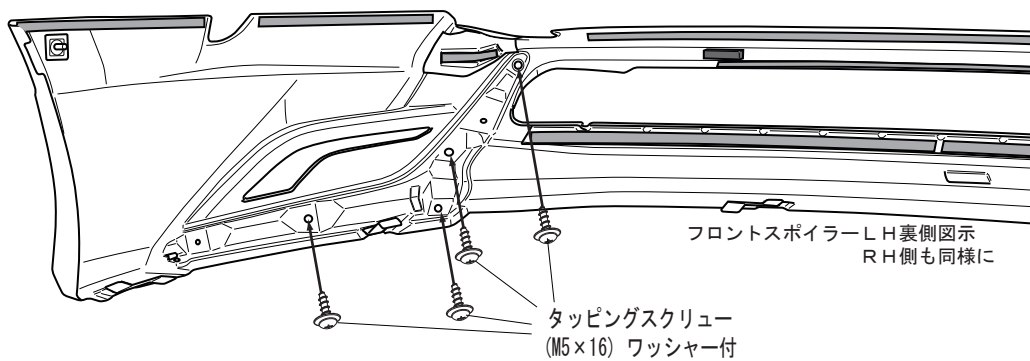
メッキパーツの取り付け

1. ②サイドメッキパーツを①フロントスポイラーに被せる。



LH側図示
RH側も同様に

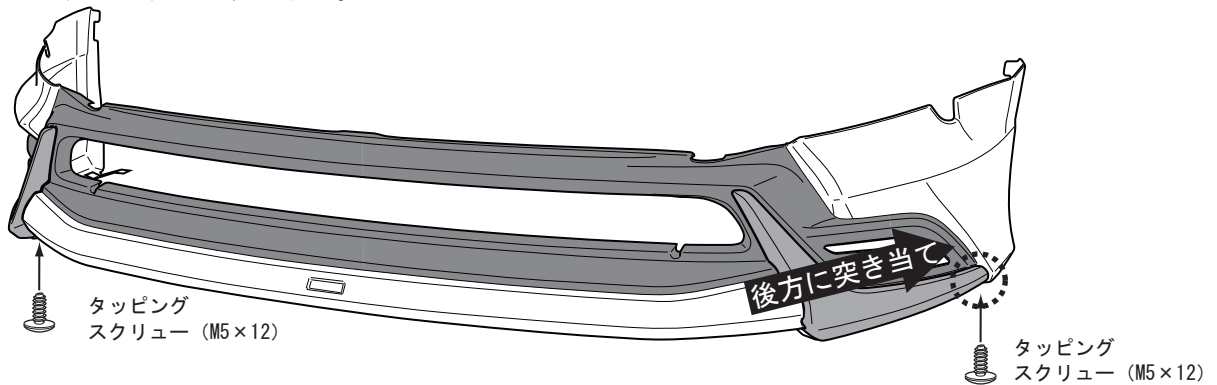
2. ①フロントスポイラーの裏面から②サイドメッキパーツの片側4箇所を取り外したタッピングスクリュー (M5×16) ワッシャー付きにて固定する。



フロントスポイラー-LH裏側図示
RH側も同様に

タッピングスクリュー
(M5×16) ワッシャー付

3. ②サイドメッキパーツの後端部 (下図破線部) を後ろ側に突き当て、下面穴を取り外したタッピングスクリュー (M5×12) にて固定する。



タッピング
スクリュー (M5×12)

後方に突き当て

タッピング
スクリュー (M5×12)

LEDユニットの取り付け

1. ①フロントスポイラーのLEDユニット取付部を清掃後、イソプロピルアルコール(IPA)で脱脂し、⑦PACプライマーN-200を塗布する。(下図斜線部)

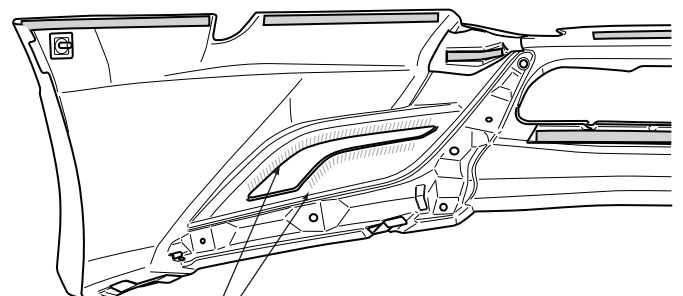
アドバイス

⑦PACプライマーN-200は①フロントスポイラー取り付け時に再使用します。
揮発性が高いので、速やかに袋に戻し揮発を抑えて下さい。
⑦PACプライマーN-200塗布後は、常温で10分以上放置し乾燥させて下さい。

アドバイス

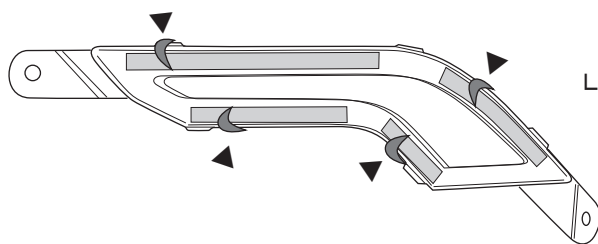
⑦PACプライマーN-200を塗布する際は塗装表面に垂れないように十分注意してください。
塗装表面を侵し、外観に支障をきたす場合があります。

フロントスポイラー-LH裏側図示
RH側も同様に



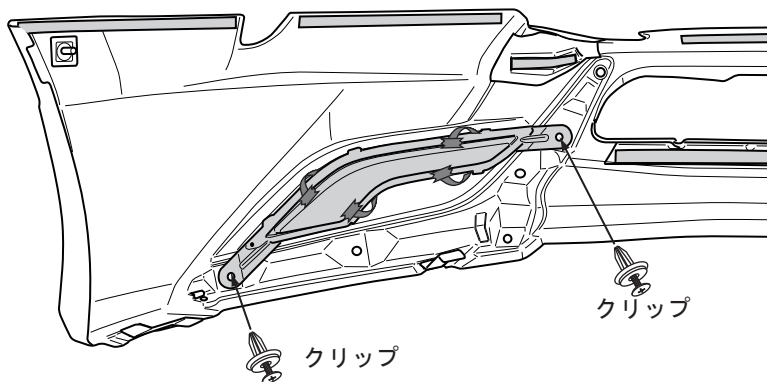
プライマー塗布範囲

2. LEDユニットの両面テープ離型紙を下図を参照に一部剥がし、裏側に折り返してマスキングテープ等で貼り付ける。

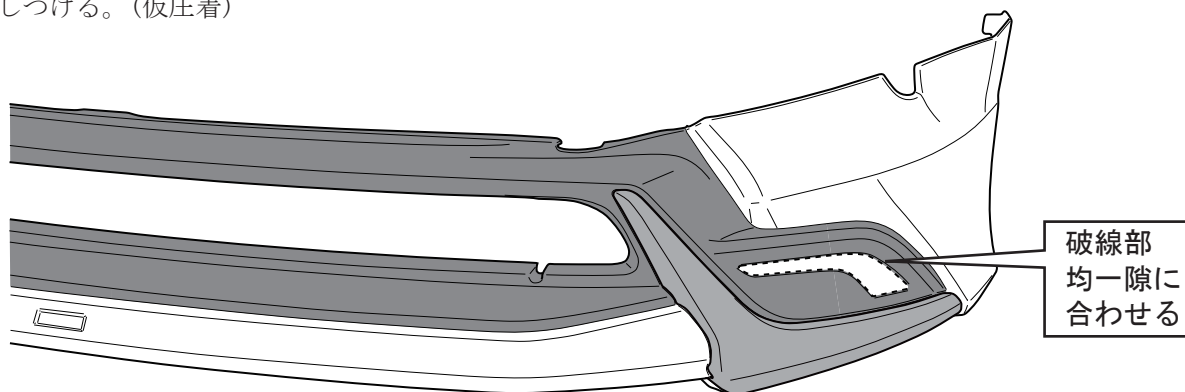


LEDユニットLH図示
RHも同様に

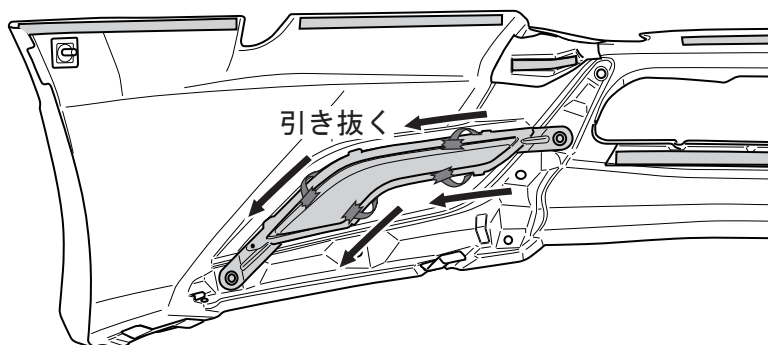
3. フロントスポイラーにLEDユニットを合わせ、取り外したクリップで仮固定する。



4. フロントスポイラー表面からLEDユニットの取り付け位置が合っていることを確認し、両面テープ部を押しつける。(仮圧着)



5. LEDユニットの両面テープ離型紙を下図矢印の方向へ引き抜きながら圧着する。



アドバイス

両面テープの貼り直しをすると、接着力が極端に低下しますので、気を付けて作業して下さい。

アドバイス

離型紙が途中で切れない様に、LEDユニットを少し浮かしながら離型紙を引き抜いて下さい。両面テープの圧着は、49N(5kgf)程度の力で行って下さい。

6. 仮固定していたクリップのピンを奥まで押し込む。

脱脂作業要領書

本書ではエアロパーツ等を取付ける際の脱脂作業について記載してあります。
取付け前に必ずお読みいただき、正しい要領で脱脂作業を行ってください。

エアロパーツの取付け・脱脂作業の要領を
解説動画でご覧いただけます。
右のQRコードよりアクセスのうえ
ご確認ください。

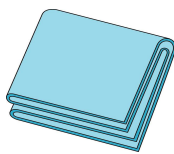


- ①エアロ取付準備・脱脂 (約3分)
 - ②エアロ位置決め・取付・圧着 (約6分)
 - ③デカール準備・水貼り・圧着 (約4分)
- 合計 約13分

■ 取付け時の脱脂作業に必要な工具等



水拭き用バケツ



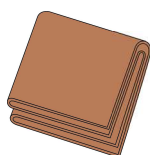
合成セーム皮



脱脂剤用
スプレーボトル



ゴム手袋



DRY 用
ウエス




WET 用
ウエス




イソプロピルアルコール(IPA)
※純度 100%推奨

■ 脱脂作業上の注意事項

1. ホコリ・チリ等のない換気の良い作業場で作業を行ってください
2. 隣接する場所で、ワックスがけやポリッシュ作業等を行わないで下さい。
※飛散した油脂やワックス等の成分が車両に付着してしまいます。
3. 脱脂剤を取り扱いの際は、眼・皮膚に触れないように保護具を着用のこと。
4. 脱脂剤を取り扱いの際は、作業場に火気・熱源のないことを確認すること。
5. 脱脂剤を取り扱いの際は、蒸気を吸い込まないように作業場内の換気に注意のこと。

 注 意・・・注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。

 アドバイス・・・スピーディーに確実に作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。

★脱脂作業概要《重要》

◎【脱脂作業】とは、取付け面の表面に付着した油脂分を取り除き、両面テープの性能を十分に発揮させるための重要な下地処理です。

下地処理が不十分だと、両面テープの性能が著しく低下して、浮き・ハガレ脱落などの不具合を起こす場合があります。

大変に重要な作業となりますので確実に行ってください。

◎ 脱脂剤は、取付け面に付着した油脂分を浮かび上がらせて、ウエスへの吸着を促す溶剤です。

脱脂剤で取付け面を拭いただけでは、十分な脱脂は行えません。

《脱脂作業前に》以降の作業要領を十分に理解したうえで作業を行ってください。

■ 脱脂作業前に

- 取付け面のホコリ・チリ等の汚れを十分な流水で洗い流す。
汚れのひどい場合は、洗剤を使用して汚れを落とし、洗剤を十分に洗い流すこと。
- 取付け面にコーティング等を施工されている場合は、除去剤・コンパウンド等を使用し除去してください。除去後、十分に水洗いを行ってください。
※コーティング剤が残っていると両面テープはハガれます。
- 水洗い後は、取付け面に付いた水滴を完全にふき取ってください。

■ 脱脂作業要領

- 取付け面の洗浄を行い、固く絞った合成セーム革等を使用し拭き上げて水滴をしっかりと取り除く。

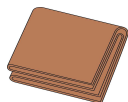


水拭き用バケツ



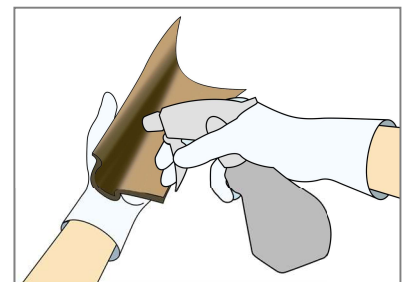
合成セーム皮

- スプレーボトルに入れた脱脂剤をWET用ウエスに吹きつける。



WET 用ウエス

※ ウエスは清潔なウエスを使用して、拭き上げ時にクズなどが出ない素材を選んでください。



WET 用ウエスにスプレーボトルを 5 cm ほど離して、初回は 10 回程度スプレーをして、ウエスが湿っている状態で取付け面を拭いてください。以降は WET ウエス表面が乾く前に追加で 5 回程度スプレーし、常に湿った状態を保つようにしてください。

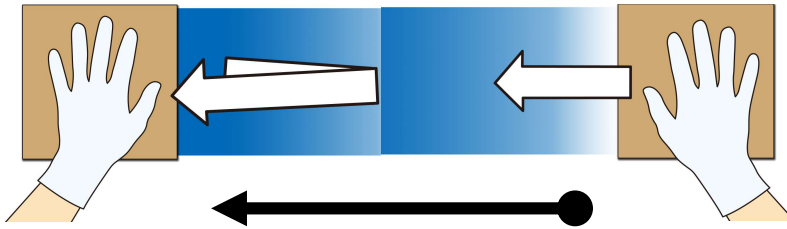
● 取付け面の脱脂作業を行う

①【WET 拭き】

脱脂剤を含ませたウエスで
1 往復で拭き油脂分を浮き上がらせる

②【DRY 拭き】

DRY 拭きウエスで一方向に
拭き上げ油脂分を取り除く



1 ブロック 60 cm 程度として両手に WET と DRY のウエスを交互に持ち
WET⇒DRY の順に拭き上げて脱脂する。

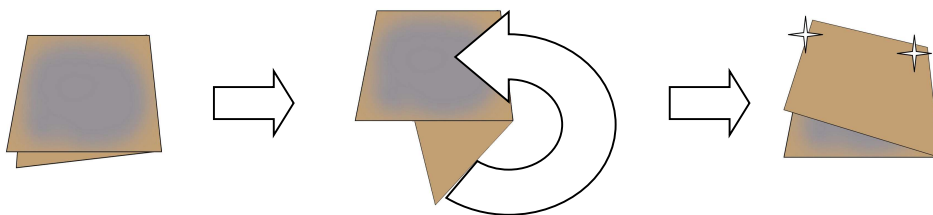
範囲が広い場合は 1 ブロック 毎を数回に分けて行い、仕上げに面を通して拭き上げる



WET 拭きのあと脱脂剤が乾かないうちに DRY 拭きで一気に拭き上げを
行ってください。

(上図のように両手にウエスを持ち作業を行うと素早く作業できます。)

DRY 拭き作業後に拭き上げた面に、拭き跡が残っている場合は油脂分が
残っていますので、再度 WET・DRY 拭きを行ってください。



WET/DRY のウエス共に 3～5 ブロック 毎にウエス表面を折り返し
ウエスの拭き取り面が常に清潔な状態で作業を行ってください。



汚れたままのウエスを使い続けると、ウエスに拭き取った油脂分が取付け面に
再び付着して、エアロパーツの浮き・ハガレの原因となります。

脱脂作業がしっかり行われている取付け面は、DRY 拭きを行った際に
ウエスへの抵抗が増して、拭き上げが重くなります。
作業前と作業後のウエスの抵抗感を目安に、脱脂を行ってください。

脱脂後の取付け面には、指などを触れないように作業を行ってください。

脱脂後は長時間放置せず、すぐに作業を行ってください。

チリ・ホコリ等が付着しないように、十分注意してください。
パーツの取り付け方法は、各パーツの取扱説明書ならびに取付要領書に
したがって行ってください。

ハリアー モデリスタバージョン

MSD41-48003(代)/04/05/06/09/10

D2531-63110/D2531-63220

フロントスポイラー 電源ハーネスキット 取付要領書

設定型式:MXUA8#/AXUH8#/AXUP85 設定グレード:全車

このたびは、モデリスタ商品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。
 本書は、電源ハーネスの取り付け要領について記載してあります。
 取り付け前に必ずお読み頂き、正しい取り付けを行なって下さい。

取り付け上の注意事項

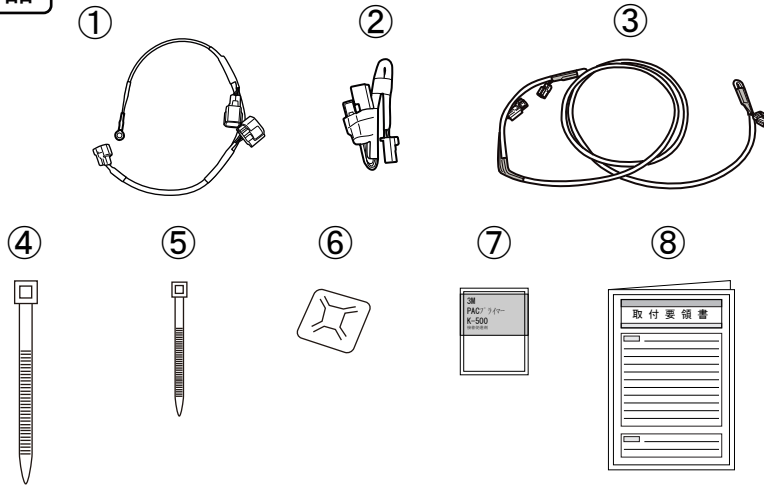
- 本製品は適合車種以外の車には取り付けできません。
- 本製品は用途以外の目的で使用しないで下さい。
- 取り付け作業は安全な場所に車を駐車させ、パーキングブレーキを確実に操作して下さい。
- 取り付け作業中の車はエンジンを停止し、エンジンキーを必ず取り外しておいて下さい。
- 取り付け作業の前に必ずバッテリーの（-）側端子を外して下さい。又、（-）側端子は（+）側端子と接触しないようにして下さい。
- 構成部品及び部品点数が取り付け要領書通りになっているか、また、不良部品の混在が無い確認して下さい。
- 車両部品の脱着には、必ず車両修理書を参照して下さい。また、本取り付け要領書で指示している部品以外は取り外さないで下さい。
- コードを引っ張ったり、重ねて使用したり、挟んだりしないで下さい。発熱や断線の原因になります。
- コードの取り廻しは、必ず取り付け要領書通りに行なって下さい。
- 誤った取り付け・分解・改造等は故障の原因・破損・感電・ショートの原因になります。そのような場合による損害の責任は一切負いかねます。

取り付け完了後の点検・注意事項

- 各システムの設定・確認を行なって下さい。（車両修理書「バッテリーターミナル脱着時の設定／作業」を参照）

👉アドバイス……この取付要領書では、スピーディーに安全な作業をして頂く上で知っておいていただきたい事を左図マークで表示しております。

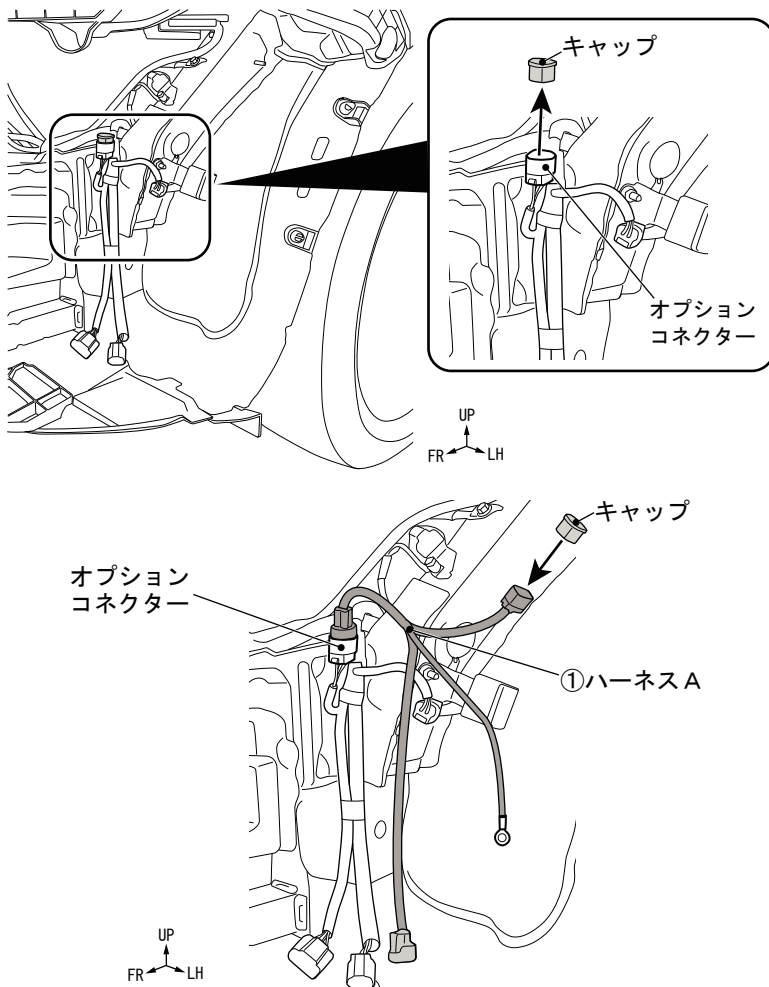
構成部品



No.	品名	個数
①	ハーネスA(エンジンルーム用)	1
②	ハーネスB(室内用)	1
③	ハーネスC(バンパー用)	1
④	結束バンド	11
⑤	結束バンド短	1
⑥	マウントベース	1
⑦	PACプライマー K-500	1
⑧	取付要領書	1

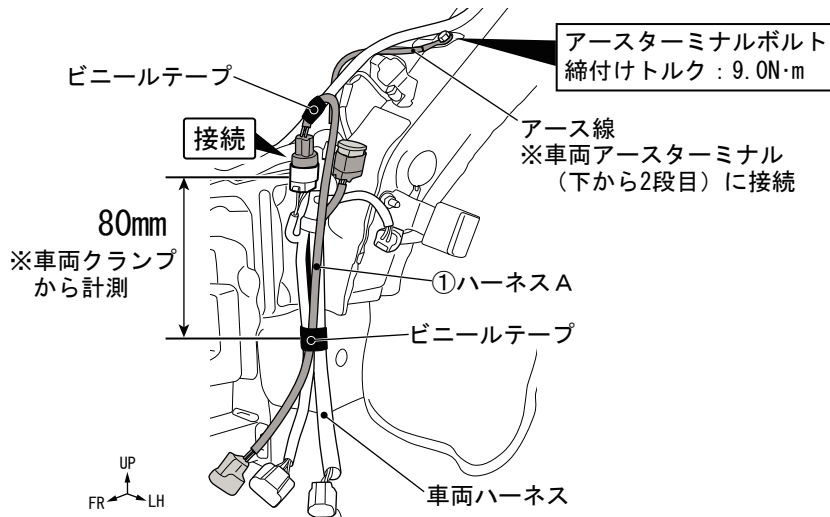
取付手順

配線作業 (エンジンルーム側)

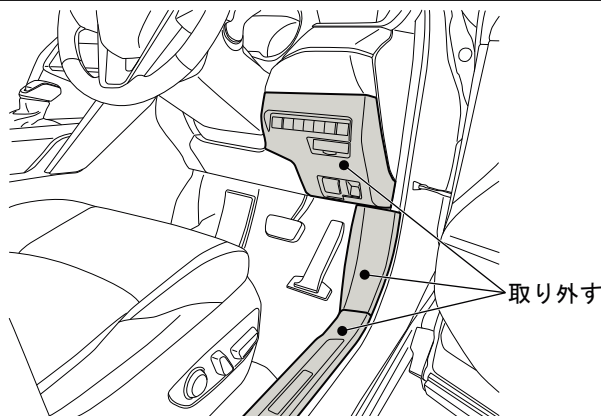


1. 配線作業 (エンジンルーム側)

1. 車両左側前方の図示車両オプションコネクターのキャップを取り外す。
(左図参照)
2. 車両オプションコネクターに①ハーネスAを接続し、1. で取り外したキャップを取り付ける。
(左図参照)



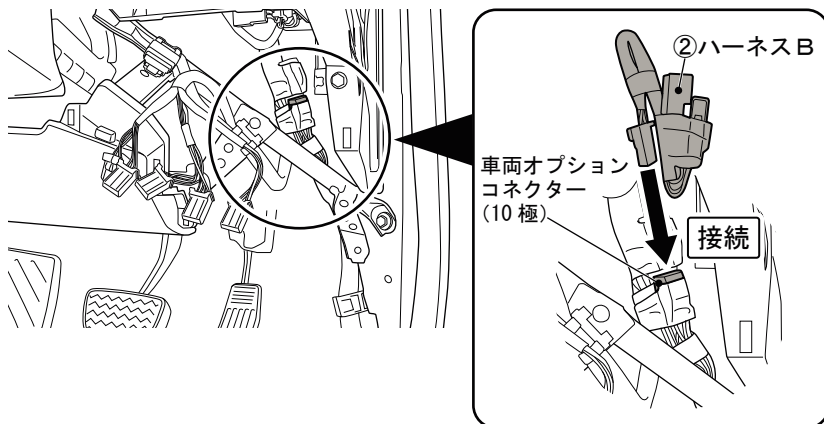
3. ①ハーネス A のアース線を図示車両アースターミナルに接続し、①ハーネス A を車両ハーネスにビニールテープで固定する。
(左図参照)



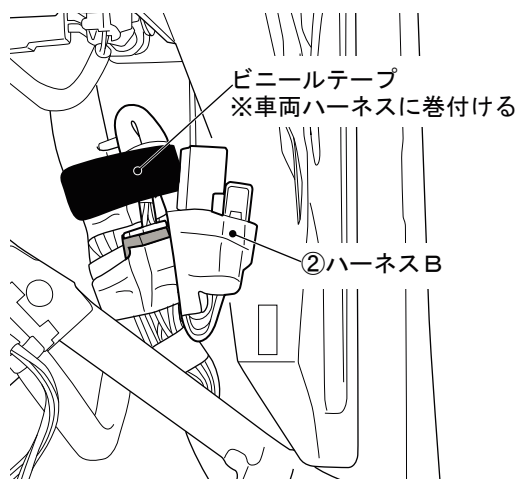
1. 運転席側の車両内装パネル類を取り外す。
(左図参照)

アドバイス

- ・ 取り外しの詳細は、トヨタ自動車発行の修理書を参照して下さい。
- ・ 取り外した車両クリップ、スクリューは再使用しますので紛失しない様。ご注意下さい。



2. 車両オプションコネクタに②ハーネス B を接続する。
(左図参照)



3. ②ハーネス B を車両ハーネスにビニールテープで固定する。
(左図参照)

4. 車両内装パネルを復元する。

配線作業（フロントバンパー内側）

1. 下図を参照し、取付けた③ハーネスCを結束バンドで固定する。

フロントバンパー裏に車両ハーネスが有る場合 : ④結束バンド 計11箇所固定

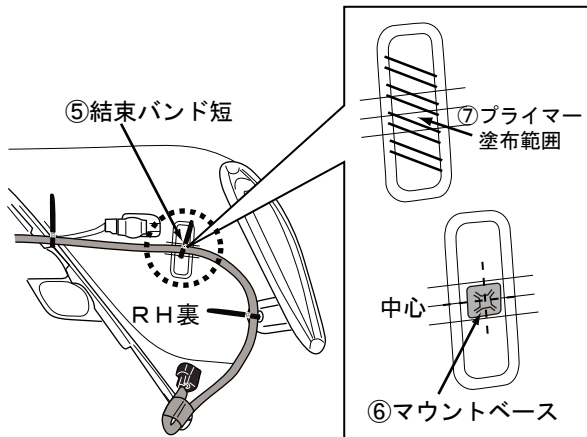
車両ハーネスが無い場合 : ④結束バンド 10箇所

+ ⑤結束バンド短 1箇所 計11箇所固定

矢示箇所

車両ハーネスが有る場合は車両ハーネスに固定する。

車両ハーネスが無い場合は⑥マウントベースをバンパー裏に貼り付け、⑤結束バンド短で固定する。



<⑥マウントベースの貼り付け>

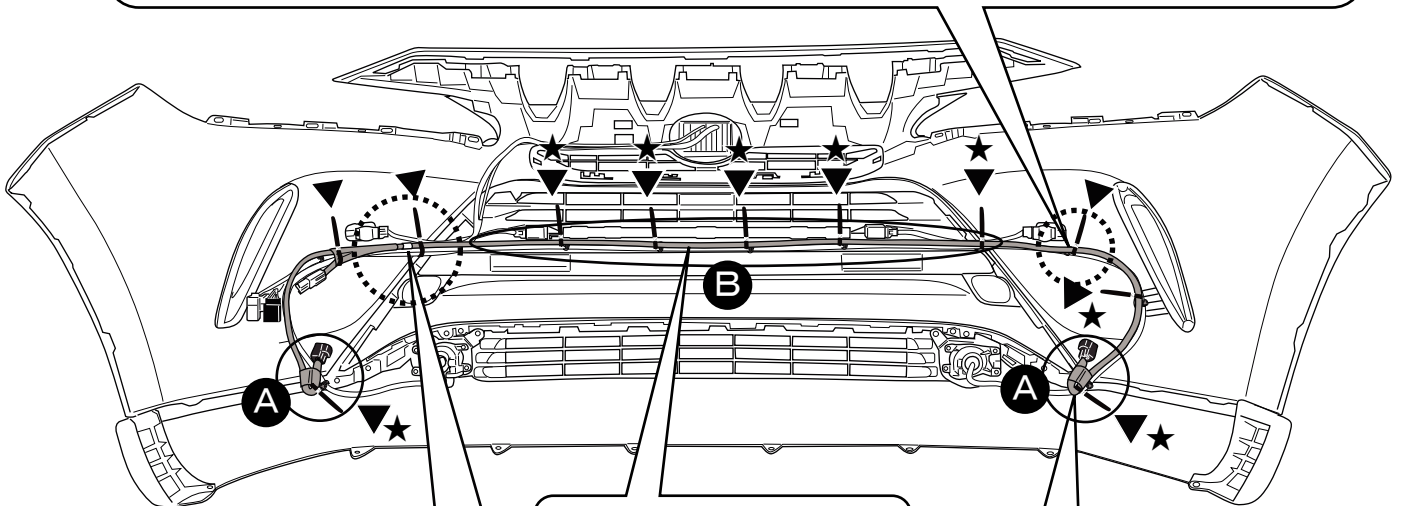
1. 左図を参照し、バンパー裏のケガキ範囲（左図斜線部）に⑦PACプライマー-K500を塗布する。

アドバイス

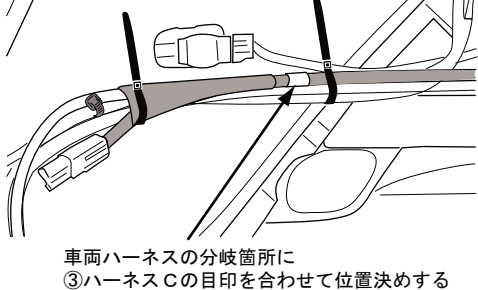
・PACプライマー-K500塗布後は、常温で10分以上放置し乾燥させて下さい。

2. 左図を参照し、バンパー裏ケガキ中心を目安に⑥マウントベースを貼り付ける。

3. 左図の様に③ハーネスCを⑤結束バンド短で固定する。

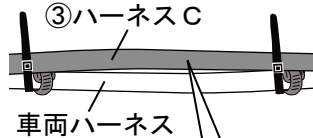


【破線部拡大図】



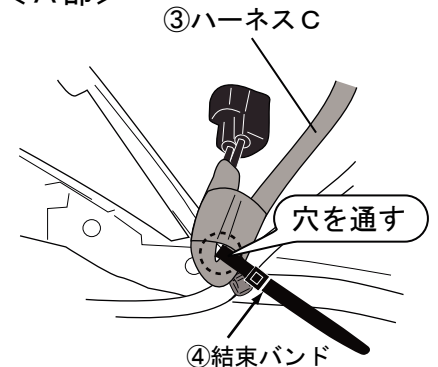
車両ハーネスの分岐箇所に
③ハーネスCの目印を合わせて位置決めする

<B範囲>



【車両ハーネス有りの時のみ】
③ハーネスCを固定する際、
車両ハーネスの上を通るように
配策して下さい。

<A部>



穴を通す

④結束バンド

上図★印 計8箇所について

- ・車両ハーネスが有る場合は、車両ハーネスに固定する。
- ・車両ハーネスが無い場合は、クランプ穴を使用して固定する。

株式会社トヨタカスタマイジング&ディベロップメント

<https://www.modellista.co.jp>

「お問い合わせ先」

モデリスタコールセンター TEL 050-3161-1000